

令和2年1月30日(木)
観光交流局県産品振興戦略課
担当 主幹兼副課長 十二所 謙
電話 024-521-7296 (内線 2981)

福島県が東京 2020 大会記念品プロジェクトに参画しました

県では、東京都及び公益財団法人オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施主体の「東京 2020 大会記念品プロジェクト」に参画し、このたび、IOC 委員など、大会関係者に贈呈する工芸品が決定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 福島県から提供する品目名及び種類

(1) 会津塗の「小箱 桜」(会津若松市)

会津塗は、安土桃山時代に産業化し、代々の藩主の保護によって発展してきました。多種多様な技法を駆使しており、優美な意匠と品質を誇ります。漆器としては、全国で2番目に、国の伝統的工芸品の指定を受けています。



(2) 会津本郷焼のフリーカップ(会津美里町)

会津本郷焼は、東北最古の焼き物として420年の歴史を有し、会津藩の御用窯として栄えた国指定の伝統的工芸品です。土の個性を活かし、多くの釉薬を使用して多種多様な作品を作り続けています。温かみのある風合いが特長です。



(3) 奥会津編み組細工の山ブドウ小銭入れ(三島町)

奥会津地方で採取される山ブドウやヒロロ、マタタビ等の植物を素材とし、素朴で堅牢、自然素材ならではの風合いと、しっかりとした手編みの良さが特徴です。一つひとつ丁寧に制作しており、使い続けるほどに艶が増すのも魅力です。



(4) 奥会津昭和からむし織のカードケース・ハンカチのセット(昭和村)

からむし織は、原料となるからむし(苧麻)を古来より受け継がれてきた技法により栽培し、繊維を取り出し、それらを全て人の手で糸にして織り上げた布です。肌触りはサラサラして心地よく、自然な生成りの色が特長です。



2 プロジェクト概要

(1) 名称

東京 2020 大会記念品プロジェクト

(2) 実施主体

東京 2020 大会記念品プロジェクト実行委員会(以下「実行委員会」)

※本県、その他参画自治体、東京都及び公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、令和元年10月に実行委員会を設置

(3) 伝統工芸品等の贈呈

実行委員会は、IOC 委員、IPC 理事・国際競技団体役員・各国オリンピック委員会役員・各国パラリンピック委員会役員・国家元首など、東京 2020 大会関係者(約 1,200 名程度)に対して伝統工芸品等を贈呈いたします。

(4) 今後

令和2年7月頃の贈呈に向け、贈呈品の製作を、産地と連携して進めてまいります。